

小泉 信三  
(こいずみ しんぞう)



1888(明治21)年生。普通部から慶應義塾に学び、1933(昭和8)年より13年塾長を務めました。戦後は東宮御教育常時参与も務め、1959(昭和34)年に文化勲章を受章。スポーツマンでもあり、「練習ハ不可能ヲ可能ニス」という言葉は広く知られています。著書に『青年小泉信三の日記』、「ペンは剣よりも強し」などがあります。

第51回 小泉信三賞

# 全国高校生 小論文 コンテスト

単なる私見ではなく何らかの裏付けや主張があり、論旨がはっきりしている「小論文」を募集しています。課題を軸にあなたの視点で自由に論じてください。

締切日：2026年

8月24日(月)

17:00までに送信

専用応募フォーム  
よりご応募ください



応募フォームは6月中旬オープン予定

課題 (1つの課題を選択)

1. AIの光と影
2. 福澤諭吉の実学と現代
3. グローバル化と日本の制度
4. 努力
5. エンパシーとシンパシー
6. 自由課題 【関心を持っている事柄や問題について、自由に課題を設定してください】

賞

- 小泉信三賞  
(賞状、副賞15万円、記念品) **1名**
- 同 次席  
(賞状、副賞8万円、記念品) **1名**
- 同 佳作  
(賞状、副賞3万円、記念品) **3名**

# 第51回 小泉信三賞 全国高校生小論文コンテスト

## 課題 (1つの課題を選択)

単なる私見ではなく何らかの裏付けや主張があり、論旨がはっきりしている「小論文」を募集しています。課題を軸にあなたの視点で自由に論じてください。

- |            |                 |   |
|------------|-----------------|---|
| 1   AIの光と影 | 2   福澤諭吉の実学と現代  | 3   グローバル化と日本の制度                            |
| 4   努力     | 5   エンパシーとシンパシー | 6   自由課題 (関心を持っている事柄や問題について、自由に課題を設定してください) |

### ■ 応募資格

全国の高等学校に在学中の生徒(締切日時点)

(高等専門学校、中等教育学校、海外の学校等については、高等学校に相当する学年に在学する生徒)

※海外の学校等では学事日程が国内と異なる場合がありますので、締切日時点でのご自身の高校在籍状況についてご注意ください。

ご不明点がありましたら事前にお問い合わせください。

### ■ 応募要領

慶應義塾ウェブサイト内の募集要項をよく読み、応募してください。

慶應義塾ウェブサイト内(<https://www.keio.ac.jp/ja/about/engagement/tradition/koizumi-contest/>)の応募フォームから、エントリーおよび作品の提出を行ってください。

応募フォームは6月中旬にオープン予定です。最新の情報は上記慶應義塾ウェブサイトをご確認ください。

### ■ 執筆要領

執筆要領に沿っていない作品は審査の対象となりませんのでご注意ください。

規定字数：6000字以上8000字以内

※参考文献リストや参考資料は字数に数えません。

本コンテストでは、テーマの深掘り、アイデアの整理、論理構成の検討などにおいて、AI(生成AIなど)を補助ツールとして積極的に活用することを認めています。しかし、AIが生成した文章をそのまま、あるいは語尾や一部の語句を調整しただけで小論文として使用することは「剽窃」とみなし、固く禁じます。最終的な文章は、必ず応募者自身の思考に基づき、ご自身の言葉で執筆してください。

注意事項：

- ・作品の著作権は主催者に帰属します。
- ・応募作品は、応募者自身が日本語で執筆した未発表のものに限ります。
- ・氏名および在学学校名は小論文、参考文献、参考資料にはいずれも記載しないでください。
- ・参考資料を添付する場合は、A4サイズで出力した際に3枚以内となるようにしてください。
- ・文献等の内容を記載する場合は、引用箇所を明示してください。
- ・盗用・剽窃等が判明した場合は失格となります。
- ・審査結果発表後であっても、作品に盗用・剽窃、および本文執筆におけるAIの不適切な利用(AI生成文章の転用等)が認められた場合は、受賞を取り消すことがあります。

### ■ 締切日

2026年8月24日(月) 17時までに応募フォームより作品を送信してください。

※締切日の17時を過ぎると応募できなくなります。

### ■ 賞

小泉信三賞(賞状、副賞15万円、記念品)1名

同 次席(賞状、副賞8万円、記念品)1名

同 佳作(賞状、副賞3万円、記念品)3名

※最終選考に進まれた方に記念品を贈呈します。

### ■ 審査委員

(五十音順)

小川原正道(慶應義塾大学 法学部教授)

白塚 重典(慶應義塾大学 経済学部教授)

早川 浩(株式会社早川書房 代表取締役会長)

恋田 知子(慶應義塾大学 文学部教授)

谷口 和弘(慶應義塾大学 商学部教授)

町田 智子(公益財団法人文字・活字文化推進機構 専務理事)

### ■ 発表

審査結果は2026年12月1日(火)に慶應義塾機関誌『三田評論』12月号誌上および慶應義塾ウェブサイトで発表、同時に応募者全員に書面で通知します。入賞作品は『三田評論』2027年1月号および慶應義塾ウェブサイトに掲載を予定しています。『三田評論』への作品掲載時には、基本的に参考資料は省略します。

### ■ 授賞式

2027年1月10日(日) 慶應義塾大学三田キャンパス(第192回福澤先生誕生記念会 会場)(予定)

### ■ お問い合わせ先

慶應義塾広報室「小論文コンテスト」係 TEL:03-5427-1541

E-mail: koizumi-contest@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/ja/about/engagement/tradition/koizumi-contest/>

※本コンテストの応募にあたりお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報は、審査結果の通知に付随する事項を行うために利用します。予めご了承ください。